

SUBARU Impreza WRX STI spec C type RA-R

2007年12月26日

今日は久しぶりに朝から夕方まで、丸一日掛かって3 port boost solenoidの装着に必要な専用ブラケットの制作を行った。1mm厚のアルミ板を整形加工するのだが、純正ブラケットの各寸法を、いちいち測って図面を起こすのは甚だ面倒くさい。そこで一番面積の大きい平面部分を紙に写し取って、それを元に必要最小限の変更(ソレノイドバルブ本体取付に必要なスペースを確保するために幅を20mm広げた)にとどめ図面を起こした。当然純正の防振ワッシャーを利用し純正と全く同様の取付方法とした。形は純正と変わらないが、スチール製ではないので長くなった足の部分は、強度不足にならないようにリブ付とした。結構よくできたと思うが、何分アルミ製なので剛性は正直言ってあまりない。しかし外部から力の掛かるものでもないので、

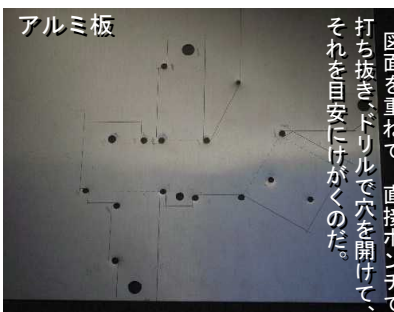


取り外した純正ソレノイドバルブとブラケット。デンソー製のソレノイドバルブだ。



鉛筆書きの原寸大図面

心配する程では無いだろう。それよりちゃんと所定のスペースに収まるかどうかの方がやはり心配だった。試しに実車に仮止めしてみたら、ピッタリ収まってまずは一安心といったところである



アルミ板

図面を重ねて、直接ポンチで打ち抜き、ドリルで穴を開けて、それを目安にけがくのだ。



純正ソレノイドバルブのブラケットを参考に制作

ここにソレノイドバルブが載っかる



リブ構造がよく見える

次は3 port boost solenoid 本体の取付だが、取付に必要な肝心のボルトがまだ到着していなかった。今回注文したボルトは、以前にもこのアルバムで紹介している、βTITANIUM製の64チタンでタンブローの4mmナベボルト20mm長と、フランジナットを2個づつだ。ちょっとオーバークオリティかもしれないが、ソレノイドバルブは結構振動と音が出るので、制振機能を持つチタン素材はたぶん

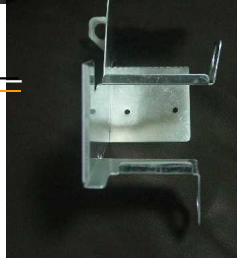


これが後に参考になった



自作のステッカーを貼ってみた。

また、ソレノイドバルブの配管は全てSAMCO製のバキュームホースを使用することになっている。これもネットで注文して既に手元にあるのだが、3・4mmのどちらを使用するかは…



純正防振ワッシャー

適材ではないかと考えている。さらに取付にも防振効果の高いフローティング方式を考えているが、なかなか良い材料が見つからないしかたないので近所のホームセンターへ行って、何か探そうとしたら、何とうってつけのアイテムが見つかったのだ。



3 port boost solenoid



4mm
3mm

SAMCO製のバキュームホース

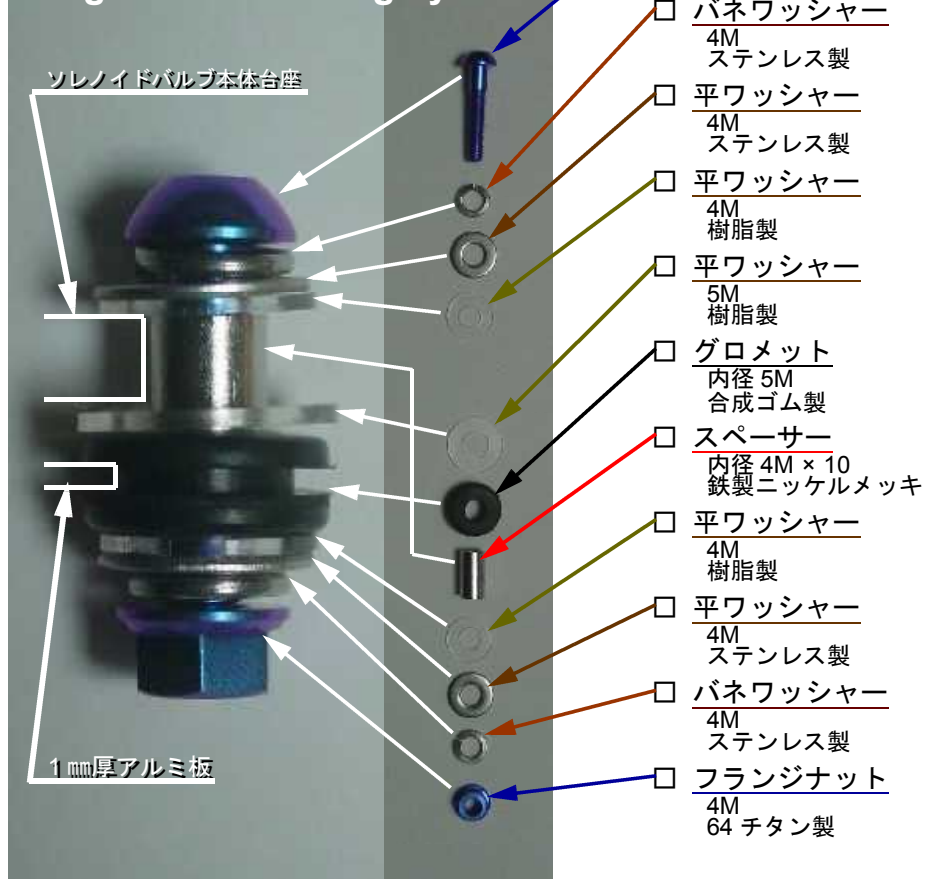
SUBARU Impreza WRX STI spec C type RA-R

BTITANIUM

2007年12月28日

本日は予報通り、朝から一日中雨が降った年末の混雑で、午前中到着予定だった荷物BTITANIUMのボルトナットが、午後2時にやった宅配便で届いた。さっそく荷を開けると、そこには美しいチタンブルーのボルトナットがあった。正確にはTI-6AL-4V、通称64チタンのパーツである。以前ナンバープレートビス用に購入したTACHYON製ではなくBTITANIUM製で、陽極酸化処理された4M×20mmのナベボルトと4Mのフランジナットである。

Original Full floating system



BTITANIUM

前日にホームセンターで見つけたアイテムというのは、合成ゴムでできたグロメットとスチール製のスペーサーである。グロメットのサイズは内径5mm、スペーサーは内径4mmで、長さ10mm。この寸法にピンときたのだ。これを64チタンのボルトナット、それに適当なワッシャー類と組み合わせれば、オリジナル・フルフロートシステムともいえるものが、出来ると考えたのだ。

BTITANIUM

BTITANIUM 製 TI-6AL-4V ナベボルトとフランジナット(陽極酸化処理)



Prodrive USA PIERBURG 3 port boost solenoid

裏側のナット部分



これで取付はOK。後は実車への装着だ。



グロメットがよく見える



裏側ではなお見えない。残念！

SUBARU Impreza WRX STI spec C type RA-R

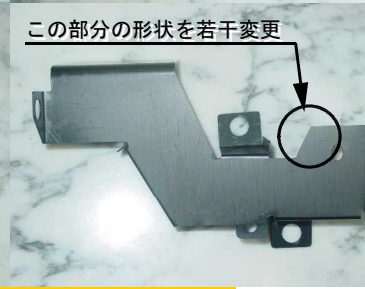


この有限会社ハイプレスという会社は、ポケバイのスペシャルパーツも手がけている板金屋だが、とても人当たりが良く良心的な会社である。



かかった費用も、消費税送料込みでたった2,625円と安い。

有限会社ハイプレス 横浜市鶴見区駒岡 4-15-6 TEL045-582-0051



この部分の形状を若干変更



2008年1月11日

今日仕事から帰ると、5日にヤマト宅急便で(有)ハイプレスという会社に送った、ソレノイドバルブ用ブラケットの二作目が、黒アルマイト処理されて帰ってきていた。梱包を解くと、見事に生まれ変わった私の作品が出てきた。これで、アルミ板の腐食の心配は殆どなくなった。また、アルミ表面の硬度も確実に上がったようだ。あとは一作目と交換するだけ。

さらに、今回も遊び心で自作のステッカーを貼ってみたが、前回と同じシールに、新たに3種類加えて、雰囲気を変えてみたがどうだろう。自分では、一作目よりも、かなり良くなったと思っているのだが…。



SUBARU Impreza WRX STI spec C type RA-R

2008年1月19日

本日は午前中 Car Care Office



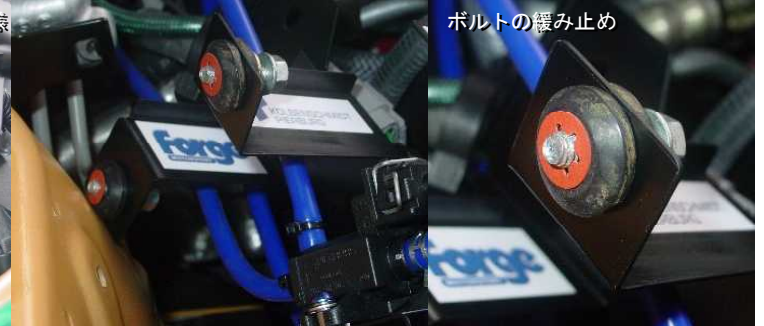
1作目と2作目、2つの自作ブラケット



3 port boost solenoidの取付は1作目と同様



ボルトの緩み止め



で、注文したあった Prova 製オイルセパレーターの取付を済ませた後うちに帰って、11日に届いた2作目のソレノイドバルブ用ブラケットの取付に着手した。1作目のブラケットと交換するだけだが、前回は棚上げになっていた純正オリフィスの装着と、



緩み止めの定番

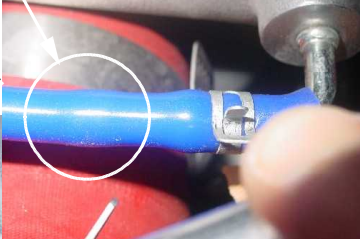


純正ソフトワッシャー

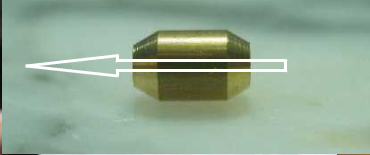


ブラケット装着時に使用する純正ソフトワッシャーの取付も同時に行った。これらの純正パーツはディーラーの取り寄せに時間が掛かり、やっと今週入荷した。18日に浅野さんが職場まで持ってきてくれた。これらは実に小さなパーツだが、特にオリフィスは、3 port boost solenoid の動作の正確さを

この膨らみにオリフィスがある。

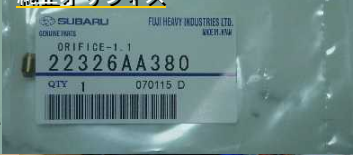


純正オリフィスには、方向がある。



テーパの絞り込みの大きい見えている面が前方である。

純正オリフィス



左右する程、大変重要なパーツである。それをオリフィス無しで、騙しだましここまで来たが、エンジンに不具合はないもののやはり心許なかったのは事実である。これでやっと安心してアクセルが踏めるといものだ。ソフトワッシャーは純正ブラケット装着時に付いていたものだが、再使用出来ないで、新品を購入した。ついでに今回はロックタイトでボルトの緩み止めを行った。これで万全！

βTITANIUM のチタンプル

